

# 町議会だより

 **板柳町の夢追人**   
～ **仕事も趣味も楽しめます！** ～

主な内容

- |              |         |
|--------------|---------|
| ● 3人が一般質問    | P 2～4   |
| ● 常任委員会審査    | P 5～6   |
| ● 決算特別委員会    | P 7～8   |
| ● 審議結果、議会の動き | P 9     |
| ● 公開討論会      | P 10～14 |
| ● 視察研修レポート   | P 15    |
| ● 夢追人インタビュー  | 裏表紙     |



# 町民の声を町政に

## 第3回定例会一般質問

第3回板柳町議会定例会が令和6年9月6日から13日までの日程で開催されました。9月9日に行われた「一般質問」に、3名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

### 一般質問コンテンツ

- P2：葛西幸男議員
- P3：佐藤聖也議員
- P4：工藤大明議員

一般質問の詳細は  
YouTubeでご覧いただけます。



↑葛西幸男議員の動画へ



葛西 幸男

### 自転車ヘルメットについて

**問** 改正道路交通法により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は、約5割が頭部に致命傷を負っており、また、ヘルメットを着用していない方々の致死率は着用していた方に比べて約1.9倍高くなっている。

**答** 管内小学校の一般道路での自転車の乗用については、南・小阿弥・東小学校は3年生以上、北小学校は4年生以上を対象としており、自転車の交通安全教室を実施しながら運転を許可している。ヘルメットの着用については努力義務であるものの、小学校としては着用するよう推奨しているとのことである。

(葛西町長)

助成については、今のところニーズ等を十分に把握していないが、児童を交通事故から守るため、きちんと着用していただきたいと考えている。そのため、他市町村におけるヘルメット助成の取組状況を調査しながら検討していきたい。

### 国内における交流都市について

**問** 青森県は子どものヘルメット着用率が低いという話もあるため、早めに全員に助成したほうが良いのではないかと考える。

**問** 板柳町はアメリカ合衆国ワシントン州やキマ市と姉妹都市提携を、北京市昌平区とは友好協定を結んでいる。それぞれ交流事業等を行っており、子どもたちの国際感覚を身につけることなど、当町の発展に寄与していると考えているが、現在、国内での交流都市などはない状況にある。

**答** 町民祭での相手方の特産品の販売や、災害時等における相互応援など、ともに発展・成長している可能性があると思う。人口規模などが同じくらい自治体が良いと思うが、そのような考えはあるのか伺う。

**答** (葛西町長)

災害時の相互支援なども大事な要素と考え、候補地を含め議員の皆さまから情報をお借りしながら調査研究をしてまいります。

**問** 私もある程度調べたが、大阪府田尻町というところは人口が約8,000人で漁業をやっている。

**答** (葛西町長)

先ほども申し上げたとおり、調査研究しながら、皆さんが納得のいくところと姉妹都市を結ぶのが良いと今の段階では考えているので、ご理解いただきたいと思います。

**問** 北海道の豊浦町という人口が7,800人の小さな漁業の町を友人と訪問したときに、お土産としてリンゴを持って行ったら大変喜んでくれたこともあったので、よろしく願いたい。

# 一般質問

一般質問の詳細は  
YouTube でご覧いただけます。



↑佐藤聖也議員の動画へ



佐藤 聖也

## DX推進について

**問** ①当町は、保護者連

絡の利便性向上などを目的に、CODMON（コードモン）を導入したが、このシステムの安全性とセキュリティ対策について説明いただきたい。

**答** ②公共施設等におけるWi-Fi環境の整備について、具体的な状況を伺う。

（葛西町長）

①このたび板柳町では、家庭と学校間の連絡がスマートフォン等で行

うことができる保護者連絡システム、CODMONを導入した。

国際規格にのっとった情報セキュリティ強化に努められていることから、このシステムの安全性は高いものと認識している。

②板柳町フリーWi-Fiを役場、ふるさとセンター、あぶるの三カ所に設置している。

しかし、アンテナの老朽化や、Wi-Fiの新たな規格に対応する必要があるため、具体的な時期は決まっていないが機器の更新は必要と考えている。

## 未来を見据えた統合小学校のビジョンについて

**問** ①8月18日に実施

された住民投票の結果を受け、町長及び教育長はどのように感じたか。

②南小学校を改修し統合を進めることになった場合、児童や保護者が地域による格差を感じることな

く、全ての子どもたちが平等に学べる環境をどのように整えていくのか。

③学童クラブの新設にあたり、特に考慮すべき重要な要素や視点について、見解を伺う。

**答** （葛西町長）

①複式学級や学校施設の老朽化といった問題に、いよいよ取り組んでいくものと実感している。

②児童が登下校、教育活動、地域クラブの活動などで不便や格差を感じることがないように、進めてまいる。

また、小学校から距離が離れている地域の保護者の皆様には、できるだけ負担を軽減できるよう、様々な課題について取り組んでいきたい。

③これまで四校で行われていたものが一校になることで、予算面を含む運営の効率化が図られ、設備の充実や、多くの仲間と一緒に過ごせるといった環境面でも大きな改善が期待される。

（高橋教育長）  
①保護者の方々の負担

軽減にもしっかりと配慮し、長寿命化改修にして本来に良かったと言われるように取り組んでいく。

**問** 統合により、四校分のランニングコスト

が一校分に削減されることから、その削減分は可能な限り教育費や子育て支援に充てるべきであると考えているか。

**答** （葛西町長）

浮いた分は、子育て世帯の方に充実していきたいと考えている。

**問** 南小学校に学童クラブを建てるより、中

学校に隣接して新設することが合理的であると思うが、その方向性での検討は行われているか。

**答** （八木橋介護福祉課長）

板柳中学校に学童クラブを新設するということは、現在のところ検討していない。

**問** 財政面を考慮して南

小学校の長寿命化改修案が提示されたのであれば、学童クラブの新設に関しても、同様に財政面を十分に考慮する必要があると考えている。

例えば板柳中学校に隣接した学童クラブというような二拠点での運営が可能かどうか伺う。

**答** （葛西町長）

統合に向けて、PTAや地区の代表者を含め、小学校統合準備委員会を設立する。

その中で、学童クラブについてもいろいろ議論されると思う。

**問** 中学校のみならず、二拠点での運営は可能なのか。

**答** （葛西町長）

これからスタートしていく中で、皆さんと協議しながら進めてまいりたいと考えているので、ご理解いただきたい。

**問** 統合小学校の令和10

年4月の開校を目指すためには、学童クラブも同時に考えていかなければならない問題だと思

っている。財政面での合理性と地域の公平性の両立を図りながら、地域全体の利益に資する決定をしていた

**答** (葛西町長)  
8月18日の住民投票の結果を受けて、板柳南小学校を統合小学校として長寿命化改修し、早期

**問** 停滞していた統合小学校問題、住民投票により「南小学校を統合小学校として長寿命化改修をする」が多数となった。住民投票で決まった結果を考慮し、今後の統合小学校の整備スケジュールについて伺う。

**問** 将来を担う板柳町の子どもたちが、様々な個性を持つ仲間とのふれあいを通して社会性や協調性を育み、切磋琢磨しながら心豊かに学び合えるように取り組んでいく。

## 統合小学校について

一般質問の詳細はYouTubeでご覧いただけます。



↑工藤大明議員の動画へ



工藤 大明

に小学校の統合を進めていきたいと考えている。

今後のスケジュールだが、令和10年4月の統合小学校開校を目指して取り組んでまいる。

令和6、7年度にかけて基本設計、実施設計業務、そして令和8、9年度にかけて、校舎、体育館、野外施設等の長寿命化改修工事を実施する。

工事期間中は、南小学校と北小学校の児童が、北小学校校舎で一緒に学び、板柳南小学校は令和8年3月で閉校することになる。

将来を担う板柳町の子どもたちが、様々な個性を持つ仲間とのふれあいを通して社会性や協調性を育み、切磋琢磨しながら心豊かに学び合えるように取り組んでいく。

**問** 統合小学校の開校時期は、遅れることができない綿密なスケジュールが求められると思うが、その辺の対応は十分吟味していただきたい。

**答** (葛西町長)  
非常にタイトなスケ

ジュールだが、議員の皆様と議論をしながら、間に合わせるように進めたいと考えている。

**問** 空き校舎のエアコン等は活用することはできるのか。

**答** (葛西町長)  
閉校後の南小学校のエアコンを北小学校で活用する方向で考えている。

**問** 普通教室にはエアコンが設置されているが、その他特別教室にも設置することはできるのか。

**答** (葛西町長)  
中学校の特別教室のほか、町公共施設への移設が可能かについても検討していきたい。

**ふるさとセンターコテージの有効活用について**

**問** コテージの直近の利用状況について伺う。

**答** (葛西町長)  
年間の数値で令和5年度は、利用人数4,301人、利用棟数1,556棟、宿泊料金収入1,95

3万1,000円、稼働率71%で、令和4年度は利用者数3,487人、利用棟数1,210棟、宿泊料金収入1,554万円、稼働率55%であった。

**問** さらに集客を目指し、年間利用パスや回数券などの仕組みを考えてはどうか。

**答** (葛西町長)  
現状では、1泊ごとに1ポイント進呈し、5ポイントでお食事サービス、10ポイントで1名様宿泊無料などといったサービスを行っている。

**問** 少人数で宿泊できるような施設があるかと、出張などいろいろな利用方法が出てくると思うが、いかがか。

**答** (葛西町長)  
ビジネスホテルなど、そういったものを建てることはできないか、常にあるテナを張っている。しかし、町で管理するのは非常に困難なため、民間を活用しながら進めていかなければならないと考えている。

## 議会を傍聴しませんか 次の定例会は12月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

日	時	内 容
12月2日(月)	午前10時	開会
12月4日(水)	午前10時	一般質問
12月5日(木)	午前10時	各常任委員会
12月6日(金)	午前10時	採決・閉会

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。





## 総務 産業 厚生 常任委員会

### ■青柳館ふるさと温泉

◎お風呂の完成を楽しみにしている方がたくさんいるが、9月いっぱいでは完成できるのか。

▲25日から再開すること、町民の方にはお知らせする予定である。

◎ウオークのイベントが終わって、対応できる広さになるのか間かれたが、大きさはどうか。

▲以前に比べると確実に広くなっている、利用して確認してもらえればと思う。

◎男女の更衣室が逆になるという話だが、間違う人があると思うので、なにか対策はあるのか。

▲のれんの色を以前のものよりもわかりやすくしたり、ついたてを置いて明記するという方法を考えている。

◎他町村では、町内の方の入浴料を安くしており、板柳でも町民はもう少し安く

ならないかという声がある  
がいかか。

▲現在、板柳町には温泉施設がふるさとセンターと高増の「不動の湯」の2件のみなので、入浴料については民間を圧迫しないよう設定している。

また、入浴券を購入してもらうという形でやっている、町内か町外かを認めることができない。

そのため、回数券は値上げしないので、そちらを購入して安く利用してもらうようすすめてもらいたい。

高齢者の方から無料入浴券なども考えてほしいとの声も聞こえるので、そちらも検討していきたいと思っている。

### ■地方就職学生支援事業

◎どういった事業なのか、もう少し詳しく伺いたい。

▲東京圏から青森に、就職試験などを受けに来るときに交通費を支援するものがある。

かかった交通費の2分の1が対象で、上限額が1万7千円である。

◎チラシはいつからどのような形で対象者に周知され

るのか、また、試験に落ちたら支給されないのか。

▲チラシがいつからかは把握していないが、県のホームページなどですでに掲載されている。

また、採用に至らなかった場合は対象外である。

内定証明書を添えて市町村へ申請し、市町村から支給をするといった流れになる。

◎移住支援事業にしては規模が小さいように感じる。

▲「地方就職学生支援事業」とは別に、「あおもり移住支援事業」という、東京圏から青森県へ移住して就職すると、市町村により金額は多少違うが、最大100万円支給するという事業を実施している。

これに加えて、就職活動のための交通費も助成するといった事業である。

### ■鳥獣被害対策

◎音の出るもので一番効果のある器具などの情報があれば伺いたい。

▲いろいろな工夫をして対策をしても、2〜3年

すると鳥が慣れて効かなくなってしまう、なかなか特効薬のようなものが見つ

かっていないのが現状である。

冬場に餌がないと個体数が減るため、家庭ごみなども与えないようにすることが一番考えられる対策だということ、広報などで町民の皆さんへお知らせしているところである。

◎少し鳥にいたずらされたリンゴでも、加工場に引き取ってもらえると助かるが、アプローチなどはできるか。

▲機会があれば話してみたいと思う。

### ■ふるさと納税

◎寄附金が1億9千万円とあるが、実質的な収支と、40市町村のランキングを伺いたい。

▲公金支払サービス利用料、ふるさと納税プラン利用料、ふるさと納税支援サービス利用料の合計が約9,000万円、その他人件費や消耗品費などが約350万円の支出となっており、実質的な収入は約9,300万円である。

また、ランキングについては、全体で10位、町の部

で5位となっている。

町ホームページでも議会の情報をチェックできます！

広報いたやなぎ



定例会や臨時会についても掲載されています！

板柳町議会だより



過去の議会だよりもご覧いただけます！



## 福祉建設文教 常任委員会

### ■斎場の修繕

◎斎場のオイルタンク取り替え工事はどのようなものか。

▲外にある蓋の部分から、建物内にあるストレーナというろ過する装置がある部分までのタンクや配管を整備するものである。

◎他の設備などは大丈夫なのか。

▲いろいろな箇所が老朽化しているため、今後考えていく。

### ■旧板柳高校について

◎これからの予定などは決まっているのか。

▲施設の利活用については、現在、複数業者から見積書を徴収している状況であり、まだ計画の作成中である。

### ■派米研修について

◎教育振興費の不用額が1,800万円ほどとなっ

ているが、内訳は。

▲中学校の派米研修費が約800万円、修学援助費が約400万円、そのほか奨学金などである。

◎令和5年度はコロナの影響で派米研修ができなかったという状況だと思うが、今年度は5年ぶりに派米研修を行った。

来年からは実施しないという保護者からの話を聞いたが、計画はあるのか。

▲今の時点で来年度はやらないということは決まっていない。

ただ、今年度5年ぶりに実施し、経費に関してはかなり高くなっているという状況があるため、今年度実施した内容について精査して、来年度以降の検討をしていくということになるかと思う。

◎金額は大事だが、できる限り来年度もつなげていくべきだと思う。

▲今年度に関しても、子どもたちの成長はすごいなどというふうに感じていたので、そういう内容も含めて検討していこうと考えている。

### ■中央アップルモール

◎中央アップルモール柵設置工事について、進捗状況と範囲を伺いたい。

▲役場の東屋のところから、ヤスタケさんの倉庫の付近までを3年計画で設置する予定である。

◎道路を渡ってトイレの方の柵はどうか。

▲そこらは上下水道課の管理になっており、計画的な整備を進めているところである。

### ■雑木伐採について

◎雑木伐採工事とあるが、近隣の住民の方からの苦情などがあつて行ったのか。

▲地元からの要望があつて行った。

◎学校の敷地内にも高い木が見受けられるが、そういうものを町の予算で伐採できないのか。

▲学校側から要望があれば、学務課で予算を確保して対応している。

### ■広栄団地改修工事

◎現在、足場をかけているのを見かけるが、進捗状況と、残り何棟なのか伺いたい。

▲令和4年から開始して、広栄団地7棟、いたや北団地1棟の改修工事をする計画で進めている。

今年度は3棟目である。

### ■ゲートボール競技

◎2026年に青森県で国スポが開催され、板柳町ではゲートボールとウォーキングの会場になるという話を聞いている。

国スポのゲートボール競技については、町としてどのように考えているのか。

▲県のゲートボール協会の方などにも場所を見てもらい、今のところ、駐車場が近く荷物も運びやすいということから、板柳中学校のサッカーグラウンドを予定している。

### ■町施設等の工事

◎道路や青柳館などで、つい最近造ったものをまたすぐ工事している、といった事態が続いているような気がする。

何か不測の理由などがあるのか、町としての認識を伺いたい。

▲修繕などに予算をあまり回さなかったということも

あるのだろうと思っている。

同じことを繰り返し返さないようにしっかりとメンテナンスをしていかなければならないと思う。

◎町政も変わったので、そういうものも踏まえ、注意を払って進めてほしい。

### ■町のごみについて

◎委託料はどれくらいかかっているのか。

▲大きなものとしては、収集業務に対する委託料が約3,467万円、弘前地区環境整備事務組合に持ち込んだものに対する経費負担が約8,080万円となっている。

### ■水道塔について

◎水道塔ができてからの年数と、耐用年数は。

▲現在できてから36年ほどだと記憶しており、耐用年数は60年であるので、あと25年ほどである。

その後は、田舎館村と合同で使えないかということも現在協議している。



# 決算特別委員会

## 総括質疑

令和5年度の各会計決算を審議するため、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長：葛西幸男議員／副委員長：三浦和馬議員）を設置し、9月12日に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※令和5年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。

こちらのQRコードから  
ご覧いただけます。→



### ◎消防の備品購入

**【質問】** 非常用電源装置19万5,580円とあるが、どこに何台設置して、どういった機能を備えているのか。

**【答弁】**（工藤総務課長）

昨年の12月に、対策本部用と役場に一台ずつ購入しており、機能としてはポータブルの非常用電源のバッテリーである。

**【質問】** 今後、防災の備品を増やしていく予定はあるのか。

**【答弁】**（工藤総務課長）

今年度、避難所設営用の備品を随時購入して蓄えているところである。

### ◎青柳館改修工事

**【質問】** 青柳館男子大浴場梁型改修工事とは、どのような工事なのか。

**【答弁】**（山口商工観光課長）

男子大浴場の梁のモルタルボードが湿気により剥がれたため、バスリブという部材で表面を覆う工事を実施した。

**【質問】** 今年度行った工事とは関係ないのか。

**【答弁】**（山口商工観光課長）

今年度の工事では梁の内

部を鉄骨に変更した。外側はバスリブを使ったため、その点は昨年度と同様である。

### ◎アメリカシロヒトリ

**【質問】** 今年アメリカシロヒトリが大量発生し、小学校の子どもたちからもかなり苦情が来ている。

早急に対策を練った方がよいのではないのか。

**【答弁】**（葛西地域整備課長）

アップルモールや、河川公園などについては、薬剤散布を数回行っており、今後も状況を確認しながら散布回数を増やすなど、対応していきたいと思う。

しかし、町だけの対応には限界があるため、自己の所有する土地については、それぞれ管理をお願いしたい。

### ◎町の基金

**【質問】** 現状で七つの基金が存在するが、人材育成基金の122万円と福祉基金の100万円の金額変動しているのを見たことがないが、機能しているのか。

**【答弁】**（会津企画財政課長）

人材育成基金は平成17年

度に528万円、福祉基金は平成16年度に2億3,900万円を取り崩して以降、約20年間動きがない状態で現在に至っている。

**【質問】** 約20年間も動きがないものを基金とは言えないのでは。

**【答弁】**（葛西町長）

数字だけ上げているのは意味がないとは認識しているため、来年度の当初予算編成時には検討して対応する。

**【質問】** 前町政のときに、どの基金でも全て、他のものにも使えるという答弁をもらったが、現町政はどのように考えているのか。

**【答弁】**（葛西町長）

目的があつての基金だと認識しているため、何にでもどこからでも崩して使うというのはできないと私自身は感じている。

### ◎公共施設の授乳室

**【質問】** 町では子育て支援に力を入れているが、町にある不特定多数の方が利用する施設に、乳幼児のための授乳室は整備されているのか。

**【答弁】**（工藤生涯学習課長）

多目的ホール「あぶる」に関しては、多目的トイレにおむつの交換台は設置しているが、授乳室という専用の部屋はない。

（山口商工観光課長）

ふるさとセンター本館の多目的トイレにおむつ交換台が設置されており、青柳館には授乳室が設置されている。

**【質問】** 板柳町はほとんどの施設に授乳室がない。

子育て支援をうたうのであれば、そういった部分も内部で検討し、対応していただきたいと思う。

**【答弁】**（葛西町長）

授乳室や、赤ちゃんのおむつ替えができる多目的トイレも、前向きに検討して設置していかなければならないと認識している。

8ページへ続く。

## ◎ふるさと納税

**【質問】** 業者に支払っている数千万円の委託料を、町独自で処理できるようなシステムの導入に充てた方が良いのではないかな。

**【答弁】** (葛西町長)

現在ふるさと納税の業務は、税務会計課から商工観光課に移管している。

施設の管理や祭りなどの業務もあるため、課長も含めて精査して検討していく。

**【質問】** ふるさと納税の収入はどういったものに使われているのか。

**【答弁】** (会津企画財政課長)

寄附していただく際に、どのような目的に使用するかを選択できるようにしており、その目的に合致するような事業に充当している。

## ◎学習アプリケーション

**【質問】** アプリケーションは、

小学校も中学校も同様のものを使用しているのか。

**【答弁】** (田中学務課長)

小中ともに同様のタブレット端末用ソフトを使用している。

**【質問】** どういったアプリなのか。

**【答弁】** (田中学務課長)

eライブラリというソフトで、家庭用タブレットで学習できるようなソフトになっている。

## ◎空き店舗利活用

**【質問】** 空き店舗利活用推進事業費補助金150万8,000円の内訳はどのようなになっているのか。

**【答弁】** (山口商工観光課長)

令和5年度は、役場を出て左側にある介護施設の内部改修が1件、彩菜館の移転にかかる経費が1件の計2件となっている。

**【質問】** 昨年、町では空き家の実態調査を行っていると思うが、その調査には空き店舗も含まれているのか。

**【答弁】** (工藤総務課長)

令和5年度に行った調査で、件数は419件であった。

その中には空き店舗も含まれているが、空き店舗のみの件数は把握していない。

**【質問】** いつ時点の数値なのか。

**【答弁】** (工藤総務課長)

令和5年12月27日現在の数値である。

**【質問】** 調査結果を踏まえて、町として対策などがあれば伺いたい。

**【答弁】** (工藤総務課長)

危険な空き家は、親族の方などに連絡をとっている。

## ◎りんごワーク交付金

**【質問】** 町からりんごワークへ、約1億円の交付金が入件費として出されていると思うが、その金額が上がらなければ、職員の給料も上がらないということになるのか。

**【答弁】** (山口商工観光課長)

給料については、りんごワークで調整しており、町からの交付金は管理にかかる経費になっている。

**【質問】** りんごワークの職員から、なかなか給料が上がらないという声を聞く。何年も働いていても給料

が上がらないのであれば、職員が辞めていき、りんごジュースの搾汁も今よりさらに厳しくなっていくのではないかな。

予算を上げて職員の給料を上げていかなければ、仕事に対するモチベーションも上がらないのではないかなと思うが。

**【答弁】** (葛西町長)

りんごワークからもきちんとした数字を報告してもらい、毎年ベースアップはしてもらっている。

職員あつてのりんごワークなので、少しでも還元できるように頑張っていく。

**【質問】** 以前りんごワークの補助金が2,400万円ほど上がったいて、当時の課長は職員の給料分だという話をしていた。

2,400万円増えたことによって、少しでも給料は増えているのか。

**【答弁】** (葛西町長)

以前の2,400万円の増額は、コロナ禍で人数を減らして経営していたものを、新たに雇う部分の人件費であったので、給料が上がるということとはなかった。

**【要望】** 町のために働いてくれている方々なので、できるだけ時代に合った、それなりの予算をつけながら頑張っていたらと思う。

## ◎商工の活性化

**【質問】** アフターコロナ飲食店活性化支援は、今回限りの事業だと思うが、今後もコロナではなくてもそういった支援は続けていくのか。

**【答弁】** (山口商工観光課長)

商工会からの希望があれば、実施につなげていきたい。

**【質問】** 先ほどふるさと納税の話で、寄附する際に目的を選べるということだったが、その中に商工関連の項目はあるのか。

**【答弁】** (三浦税務会計課長)

項目は五つあるが、「自治体にお任せ」という項目の寄附金を、商工関係に充当している。

**【要望】** 財政を考慮していくには、経済面を工夫して町の発展につなげていかなければと思っている。



# 一目で分かる審議結果

審議された議案等		結果	工藤 大明	佐藤 聖也	會津 大郎	三浦 和馬	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	葛西 幸男	長内 良蔵	佐藤 洋治
◇第3回定例会(令和6年9月13日)													
同意第2号	板柳町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(泉隆子氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	板柳町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	板柳町子ども・子育て会議条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	板柳町地方活力向上地域にかかる固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	板柳町国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和6年度板柳町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和6年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和6年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和6年度板柳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和6年度板柳町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和6年度板柳町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和5年度板柳町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和5年度板柳町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和5年度板柳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和5年度板柳町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和5年度板柳町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和5年度国民健康保険板柳中央病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和5年度板柳町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和5年度板柳町公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	令和5年度板柳町一般会計継続費精算報告書について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第4号	令和5年度板柳町農業集落排水事業特別会計継続費精算報告書について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第5号	令和5年度板柳町健全化判断比率の報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第6号	令和5年度板柳町資金不足比率の報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第7号	私債権の放棄に関する報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第8号	一般財団法人板柳町産業振興社りんごワーク研究所経営状況の報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○:賛成    ×:反対    欠:欠席    ※議長は採決に加わらない

## 議会の動き (7月～9月)

開催日		会議等名	開催日	会議等名
7月	1日	議会運営委員会	8月	6日 例月出納検査(監査)
	//	議員全員協議会		8日 公開討論会①
	2日	議会運営委員会		11日 公開討論会②
	//	議員全員協議会		20日 新人議員研修会
	//	第3回臨時会		23日 西北五広域福祉事務組合定例会
	5日	議会広報特別委員会		27日 議員全員協議会
	8日	例月出納検査(監査)		30日 議会運営委員会
	16日	議員全員協議会	9月	6日 本会議(開会、定例会日程・町長の提案理由等)
	17日	県下町村議会議員研修会		9日 本会議(一般質問:3名)
	23日	議会広報特別委員会		10日 例月出納検査(監査)
	24日	議会運営委員会		11日 総務産業厚生常任委員会
	//	第4回臨時会		// 福祉建設文教常任委員会
	//	議会運営委員会		12日 決算特別委員会
	29日	西北津軽郡町議会議長会第1回協議会		13日 本会議(委員長報告、採決、閉会)
	30日	議会広報特別委員会		18日 原子燃料サイクル施設視察研修(六ヶ所村)
				25日 町村議会広報研修会

## 板柳町統合小学校整備に関する

# 公開討論会

令和6年8月8日（木）・11日（日）に多目的ホール「あぷる」において、公開討論会が開催されました。

8月18日（日）に行われた住民投票に向けて、町民のみなさまの意思決定に役立てるため、「板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修を主張する議員」と「板柳中学校に隣接し、統合小学校の新設を主張する議員」による主張や討論をのべ、参加者（町民）からの質問に答えました。

P10～12：各議員の主張

P13～14：町民からのQ&A

住民投票の結果		2. 開票結果		3. 各選肢の得票数	
1. 投票結果	当日の有権者数	投票総数	有効投票	無効投票	無効投票率
投票者数	1,081人	5,018票	4,993票	25票	0.50%
棄権者数	0人	5,018票	4,993票	25票	0.50%
投票率	79.8%	46.39%	46.39%	0票	0票
棄権率	20.2%	53.61%	53.61%	0票	0票
投票結果	投票者数	投票総数	有効投票	無効投票	無効投票率
投票者数	1,081人	5,018票	4,993票	25票	0.50%
棄権者数	0人	5,018票	4,993票	25票	0.50%
投票率	79.8%	46.39%	46.39%	0票	0票
棄権率	20.2%	53.61%	53.61%	0票	0票

今浩一議員

（南小を長寿命化改修）

板柳町には他町にはない、北小学校と南小学校という、板柳町の小学校全児童が入る大きな学校が二つある。

例を挙げると、鶴田小学校は新築をして統合しているが、それは全児童が入る規模の学校がないためである。

これから小学校の他にも、町の防災・行政の拠点となる役場庁舎、旧板柳高校の跡地利用、そして皆さんの安心安全を守る消防団の屯所など、これから数々整備していかなければならない。

どれも莫大な予算がかかるのは、誰もが予想できることであり、将来板柳町の子どもたちに大きな負担を残すのではないかという考えで、町が推している南小学校を長寿命化改修するという案に賛成している。

會津大郎議員

（南小を長寿命化改修）

町の財源が逼迫した場合、まずはじめに起こりうるのが住民サービスの低下である。

例えば、プレミアム商品券の発行がなくなったり、農家の立場から言わせていただくと、現在行っているコンシューマーへの補助、収入保険の加入者に対する助成金など、町独自でおこなっている助成に関して、減額もしくは廃止になるという現象が起きてくる。

それは、子育て世帯も高齢の方に対するサービスも、必ず影響が出るということを考えてほしい。

そうならないように、新築よりも予算を抑えた長寿命化改修を選択していると、いうことを理解してもらいたい。



三浦和馬議員

(南小を長寿命化改修)

板柳町はこれから、役場をはじめいろいろな施設の改修や、建物に関する事業がたくさんある。

その中で、学校だけに予算をつぎ込むというのは難しいことだと思っている。

しかしそれは、子どもたちの教育現場を辛抱するということではなく、教育現場の充実には十分にお金をかけるのだという改修内容となっている。

教育現場と、未来の子どもたちの財政の不安の解消、それを両立できるのが南小学校を長寿命化改修するという町の案だと思っている。

佐藤聖也議員

(南小を長寿命化改修)

板柳町には老朽化施設がとても多く、1970年代から1990年代にかけて建設された公共建築物が多数存在しており、一般的に大規模修繕が必要となる30年を経過している公共建築物は全体の61.1%を占めている。

今、無理をして小学校を新築すると、これらの建物に必要な事業が難しくなるのではないかと思っている。

一番は持続可能な町づくりがあり、その下に教育があり、教育をしつかり受けた子どもたちがさらに板柳町を考えるのだと私は思っている。

そのため、建築物に多額のお金をかけるのではなく、それらを教育に費やし、子どもたちに充実した教育を受けてもらいたいと思っているので、南小学校の長寿命化改修に賛成という立場である。

工藤大明議員

(南小を長寿命化改修)

当町は今後、建物整備のほか、多くの既存施設の改修が必要となり、財政の負担となる。

また、これから人口が減少していくなかで、将来町の財源の減収は容易に予想される。

そして、20年後に児童数的大幅に減ることも予想されており、将来は現在の板柳中学校に小学校全児童が収容されてしまう。

そのため、板柳中学校隣に新築をしても、20年後には不要になり、重すぎる負担になると思う。

将来を見据え、財源を無駄にせず負担の少ない、南小学校を長寿命化改修をしての統合が最適だと考えている。

佐藤文俊議員

(南小を長寿命化改修)

南小学校は、コンクリートの状態が非常に良く、それだけを残してすべて新しくするため、見た目は新築と大差がない。

また、長寿命化改修ではなく、ただ修繕をするだけでも5〜8億円かかるが、長寿命化改修を選択することによって、国からの補助なども受けられ、25年間で7億円という同じような金額で、素晴らしい学校に入ることができる。

将来は、板柳町の児童・生徒がすべて板柳中学校に収まってしまったため、新築をしても負の遺産になってしまう。

その負の遺産を一つでも減らすという観点から、長寿命化改修が子どもたちにとっても町にとっても、一番良い結果を残すであろうと思っている。

長内良蔵議員

(板柳中学校隣に新築)

町の改修計画は、施設のほとんどが全面改修工事であり、31億円もかける必要があるのか、築40年の建物にこれほどの費用をかけても、快適な学習環境が確保できるのか疑問と不安が残る。

場所についても、南小学校は地域的に偏っており、遠距離からの児童の移動距離や通学時間が増え、保護者にとっても大きな負担となる。

また、議会にも請願書が提出されているほか、パブリックコメントの結果を見ても、ほとんどが新築を望んでおり、改修については少数意見である。

未来ある子どもたちのために、保護者や町民の声にしっかりと耳を傾け、板柳中学校の隣に統合小学校を新築するべきだと考えている。

葛西幸男議員

(板柳中学校隣に新築)

統合小学校と中学校が同じ場所にあると、スクールバスを効率的に運行できるほか、小学校と中学校に子どもを持つ保護者にとつては、大変便利になると思う。

また南小学校は、板柳管内でも最も交通量が多い国道339号バイパスに面しており、通学路の安全確保や交通渋滞に不安が残る。

板柳中学校の隣に統合小学校を新築し、集約化をすることで、教育効果を高めることができるだけでなく、教育エリアとして取り組みを積極的に発信し、町の活性化にもつながると思う。

平成26年度と令和4年度の2度に渡り、検討委員会や審議会で板柳中学校の隣に新校舎の建築が提言されており、新築が最も適していると考えている。

工藤貢議員

(板柳中学校隣に新築)

板柳中学校の隣に新校舎を建築することで、小中連携、小中一貫教育の推進に大きな効果が期待できる。

小中連携には様々なメリットがあり、小学校から中学校への接続をスムーズに行うことができ、中一ギャップや不登校、いじめの解消にもつながる。

財源については、四校の統合により、年間の小学校管理費が約8千万円削減することができ、さらに、一般会計の不用額が毎年3億円から5億円程度発生しているため、財政的になんら問題はないと思っている。

未来ある子どもたちが、安全で快適な教育環境の中で、夢と希望を持って学べる新校舎を建築することが、私たち大人の責務だと考えている。

佐藤洋治議員

(板柳中学校隣に新築)

南小学校は当初、校舎、体育館、内部の改修で、設計、改修工事が1億7千7百万円程度とのことであったため、5億円程度での経費を抑えた改修を提言してきた。

今年の3月議会で、町側から提示された31億円の長寿命化改修工事の案は晴天の霹靂であり、支持者からの理解を得られるものではないというのが反対する最大の理由である。

パブリックコメントや要望書、請願書でも板柳中学校の新築を望む声が多く、地域性・利便性を重視して、板柳中学校に隣接した統合小学校を新築することが一番良い選択ではないかという結論に至った。

鈴木清孝議員

(板柳中学校隣に新築)

20年後には、板柳中学校に小学校全児童が収まるため、長寿命化改修をした南小学校は不要になるし、寿命もすぐにきてしまう。

また、小学校全児童が中学校に移転した場合、体育館やグラウンドを新たに整備する必要があるため、新築をした方が一気に整備もできるため、利点も大きい。

経費の面については、町の基金があるため、町の財政が危機的状況になるといったことは考えられない。

さらに、建築する際のレイアウトによっては、予算を削減することも可能だと思う。

時代に即した校舎を建築し、将来につなげていくということも大事なことでないかと考えている。

濱名康治議員

(板柳中学校隣に新築)

南小学校の長寿命化改修は、コンクリートの梁・柱だけを残してすべて改築するといったものだが、やはり子どもたちにとつては、新しい空間で現代に適した教育環境の方が良いのではないかと思う。

学校に送り迎えをしている保護者もいると思うが、小学校と中学校が一方所に集約していると、保護者の送迎の負担も減ると考えている。

また、町でも基金を貯めているのに、今使わずにいつ使うのかという考えである。

町民の皆さんが子どもを育てていくために負担にならないよう、小学校と中学校をひとつの場所にしたいという結論に達した。



5億円での改修は？

**町民** 町長選挙では既存施設の改修を掲げて当選したが、金額についても公約どおり5億円程度で改修するべきでは。

**改修** 5億という金額は前町長が話した金額である。現町長は選挙時には一般人なので、金額については一言も触れておらず、現町長は5億円の話とは無関係である。

避難所としての役割は？

**町民** 現在四校ある小学校が一校に統合してしまうと、避難所としての役割はどうなるのか考えを伺いたい。

**新築** 避難所としての施設には、快適さも求められるようになってきている。それも踏まえ、町の中心である板柳中学校の場所にも新築をする必要があると思う。

さらに、空港とつながる津軽横断道路も開通すると、物資の搬入面でも利点が出てくると思う。

**改修** 今後、残りの三校を町がどのように利用する

か、様々な選択肢があるが、一つの例として、不要になった学校を売却する際の契約に、避難所として利用するといった内容を記載して、避難所としての役割を持たせるといった方法もある。

議論に時間が必要では？

**町民** 南小学校の長寿命化改修をしても、将来子どもが少なくなると中学校にすべての児童生徒が入れるということだが、もう少し時間をかけて議論した方がよいのではないか。

**改修** 統合小学校の計画のきつかけが、東小学校の複式学級を解消するためである。

東小学校に小阿弥小学校の生徒が移転すると、一時的には複式学級が解消されるが、10年後には同様の状態になってしまう。

さらに、北・南小学校ともに大規模改修が必要となり、その改修にかかる費用は国の補助などの対象にならず、全額町の持ち出しとなる。

その点も考慮し、現在統合小学校の計画を進めている。

費用の返済方法は？

**町民** 新築または長寿命化改修にかかる金額の返済方法は。

**改修** どちらにしても、町の税収で支払っていくことになる。

**町民** 税金が上がることはないのか。

**改修** この場で断言はできないが、町の借金が増え人口は減るということになると、町として町民に出している補助金をカットするなど、なにか処理する可能性は否定できない。

いつから新築派に？

**町民** 当初、長寿命化改修でも新築でもなく、さらに費用を抑えた最低限の改修派だった議員は、意見を新築に変えたのはいつで、住民の方に説明はしているのか。

**新築** パブリックコメントを拝見し、各町内から要望書や請願書が提出され、町民の声を大事にしたいと会派で議論をした。

支持者の方には新築の考えだと伝えている。

支持者の方への説明では同意を得られたのか。

**町民** その考えはもっともだということですが、ご理解はいただいている。

他の施設にお金は使える？

**町民** 学校を建てるのに財産をすべて使ってしまうと、他の施設にお金が使えなくなってしまうのでは。

**新築** 新築することによって他の施設を修繕することができなくなるといふことにはならない。

いろいろな基金や国の交付金があるので、知恵を絞って皆さんに負担をかけるような、よりよい町を目指していく。

**町民** 長寿命化改修派の方には、予算を抑えることも大事なポイントとしてあげているが、絞った予算を他の施設の整備に充てるという考えでよろしいか。

**改修** これから役場なども改修、または新築していかなければならず、そういった事業を滞りなく行わなければならない。

教育も進めることができ、住民サービスも維持し

つつ、突発的な予算が必要になった場合も対応できるということですが、長寿命化改修に賛成している。

また、町の基金には様々な用途があり、約40億円をすべて小学校の建築に使えるのではない。

40億円の基金をすべて使用してしまうと、災害など不測の事態に対応できなくなるため、危険であるということをご理解いただきたい。

交通災害の対策は？

**町民** 中学校の場所は道路が狭く、南小学校の場所は国道339号に面している交通量が多い。

どちらもメリットとデメリットがあると思うが、交通災害を起こさないための対策について伺いたい。

**改修** 敷地を広くしたうえで、スクールバスなどで送迎ができるよう、建物の完成に合わせて整備していく。

**新築** 安全性を考え、周辺道路を整備していく必要があると感じている。

自転車も危ないのでは？

**町民** 板柳中学校の隣に新築した場合、小学生と中学生が同じ方向に向かうことになり、自動車だけではなく中学生の自転車にも気をつけなければならず、小学校低学年には特に危険だと思うが、対策等はあるのか。

**新築** 道路が狭く危険な通学路がいくつかあるが、将来的には道路の拡張なども視野に入れていきたい。

なぜ南小学校なの？

**町民** 統合小学校として北小学校ではなく、南小学校を選定した理由を伺いたい。

**改修** ①北小学校よりも南小学校の周辺にいる児童数が多い。

②児童数が多いということとは、スクールバスの台数を減らすことができる。

③北小学校は学校までの道路が狭く、バスがリターンすることが困難であるが、南小学校の場合は周辺の用地を一部買取することで、大型バスが入ってくることをできる。

④北小学校は下水整備がなされていない。

以上のことから南小学校を選択した。

**町民** 以前の説明会で、北小学校は2階に職員室があるため、防犯上適していないという話があった。

南小学校の改修期間中、児童は北小学校に移動することになるが大丈夫なのか。

**改修** 町や教職員でバックアップ体制を充実させ、子どもたちの安全を確保するために、最大限の努力を行っていくという説明も町側ではしていた。

遠方への対応は？

**町民** 沿川地区からは役場や農協も遠方であり、南小学校はさらに遠く、沿川地区はないがしろにされているのではないかと感じる。

**改修** まず、町は全町民すべてに対して、ないがしろにするといったことはないもので、ご理解いただきたい。

この統合に関しては、新築・長寿命化改修どちらの場合でも、全町民すべてが平等になるとは言えない。しかし、スクールバス等の充実など、子どもたちの

教育環境は十分に整えるので、その点に関してはどちらの場合でも同様だと思っている。

町民サービスは大丈夫？

**町民** 新築は54億円、長寿命化改修は31億円と試算されているが、どちらもこれからさらに金額は上がると思う。

町民サービスが困難になるのではないかと思うが、双方の意見を伺いたい。

**新築** 建築にかかる金額すべてが町の負担になるわけではなく、国からの補助金や貯めてきた基金もあるので、税金を上げるとのことではあり得ない。

**改修** 新築のために国からお金を借りると、町の借金を支払う比率が18%を超える。

20%を超えるとお金が借りられなくなるため、18%という数値はイエローカードである。

これから役場や旧板柳高校の改修など、大きな事業を実施できなくなるため、ぜひその点も考えていただきたいと思う。

**新築** 実質公債費比率というものが25%を超えると制限が出てきて、35%を超えると、財政再建団体となる。

令和5年3月31日現在で、町の実質公債費比率は約11%であり、新築や長寿命化改修をすることで規制がかかる比率まで上がるとは思えない。

**改修** 小学校だけを考えるとたしかにそうかもしれないが、これから町として実施していかなければならない事業が数多くある。

そのために、少しでも経費を抑えることができる長寿命化改修が良いと考えている。

**新築** 今回示されている54億円も、規模が同様の他町村のものを参考にしただけで、きちんと精査されたものではない。

そのため、新築の54億円については圧縮できると考えている。

加えて、20年後に中学校に小学校全児童が移動してきた場合、小学校用のグラウンドや体育館など、追加で負担が出てくるのであれば、新築をした方がよいの

ではないかと考えている。

町民からのお願い！

**町民** よりよい板柳町、子どもたちが安心して勉学に努められるような町を目指しているのであれば、会派を超えて板柳町のために、ぜひとも汗水垂らして意見を交わして頑張ってもらいたいと思う。

公開討論会は  
YouTube でもご覧いただけます。

8月11日（日）



8月8日（木）





# 視察・研修レポート

## 六ヶ所原燃 サイクル施設視察研修



## 鶴田町議会と合同実施

日時：令和6年9月18日（水）  
場所：六ヶ所村「日本原燃㈱」  
参加者：今浩一議長、葛西幸男副議長  
三浦和馬議員、會津大郎議員、  
佐藤聖也議員、工藤大明議員

### 研修内容

PR館 → 濃縮工場 → 低レベル埋設地  
→ 再処理展示コーナー → 高レベル管理施設  
→ 安全対策工事現場

## 町村議会広報研修会



日時：令和6年9月25日（水）  
場所：東京都「ニッショーホール」  
参加者：議会広報特別委員会委員  
（濱名康治委員長、工藤大明副委員長、  
工藤 貢委員、會津大郎委員、  
佐藤聖也委員）

### 研修内容

1. 読まれる議会広報誌の作り方
2. パッと伝わる広報誌に！  
やっではいけないデザイン講座
3. 「読まれない議会だよりに出す意味なし」  
聴く・動く 寄居町議会の挑戦

## 板柳町議会応援団！！

### 青森県民 スポーツ大会



7月20日（土）・21日（日）  
7月27日（土）・28日（日）

全力で頑張る選手を  
全力で応援しました！

### 青森県民駅伝 競争大会



9月1日（日）



ひじいゆうた  
肘井優太さん  
23歳／栄町

神奈川県出身の肘井優太さん。高校卒業後に七戸町の営農大学校へ入学。2年間農業について勉強し、現在は板柳町でリンゴ農家を営んでいます。

板柳町におじさんが住んでおり、幼少期からりんご作業の手伝いをしに来ていた経験から、リンゴ農家になろうと決めていたそうです。

自身で約13,000㎡のリンゴ畑を所有し、6種類のリンゴを栽培しているほか、おじさんの畑の手伝いもしているとのこと。

将来の夢は「リンゴ農家として稼ぎ、趣味の魚釣りなどをして楽しく過ごすこと」と話してくれました。

## 編集後記

10月に入り秋も深まってきた、朝晩の冷え込みはあるものの、いまだに最高気温が20度を超える日々が続いております。

近年の気候変動により、りんごも影響を受けており、凍霜病や高温による日焼けなど様々な害が出てきていますが、価格のほうは高値で取引されており、生産者からは喜びの声も上がっています。

今年も色々なことがありましたが、あと少しです。りんご農家の皆さん頑張りますように。

(委員 會津 大郎)

【発行責任者】

議長 今 浩一

※第44号発行予定は、2月7日頃です。議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。